

はじめに

- ◇意義と目的 時代潮流や景気動向に対応しながら、兵庫の産業の元気と県民生活の豊かさの創出に向けて着実に進んでいくため、産業・雇用分野での県政運営の基本的考え方及び施策の方向を示す。県民、企業・事業者、大学・研究機関、地域金融機関、産業雇用団体・支援機関が、それぞれの役割を果たしつつ、協働して推進を図っていくための共有のシナリオとなる。
- ◇位置づけ 新たな兵庫づくりの基本方針等を示した「兵庫2030年の展望」の実現につなげる。中小企業の振興に関する部分を中小企業振興条例に規定される計画とする。
- ◇基本姿勢 有識者会議等を通じた関係者間の緊密な連携・協力のもとにプランを推進し、PDCAサイクルにより取り組み、効果的な施策の立案・実施を図る。

第1章 兵庫県の産業・雇用活性化の推進状況

【ひょうご経済・雇用活性化プラン(H26～30年度)の進捗状況】

戦略/評価点数	4点	3点	2点	1点	指標数	未判明 指標数	進捗状況 (3点以上の指標の割合)
戦略I「産業力」 強化戦略	30	10	3	4	47	10	85% (40指標/47指標)
戦略II「人材力」 強化戦略	17	7	1	5	30	2	80% (24指標/30指標)
戦略III「国際力」 強化戦略	15	2	1	0	18	2	94% (17指標/18指標)
全体 (成果指標総数)	62	19	5	9	95	14	85% (81指標/95指標)

【主な成果指標のH29実績】

※()内はH29目標

戦略名	指標名	評価
戦略I「産業力」 強化戦略	SPring-8 県ビームライン利用機関数：26 機関 (35 機関)	1
	企業立地件数：167 件 (165 件)	4
	県立工業技術センター共同研究等実施件数：858 件 (800 件)	4
	ひょうご No.1 ものづくり大賞選定件数：7 件 (7 件)	4
	オンリーワン企業認定数：7 社 (10 社)	1
	地場産業プラント力強化促進事業による支援件数：13 件 (8 件)	4
	IT 関連企業立地件数(累計)：22 件 (20 件)	4
	成長期待企業支援企業数：97 件 (100 件)	3
	チャレンジマーケット発表企業等：62 件 (65 件)	3
	商店街元気づくり事業等による支援件数：160 件 (90 件)	4
県内宿泊者数：1,389 万人 (1,450 万人)	3	
戦略II「人材力」 強化戦略	県支援による UJI ターン就職者数：533 人 (500 人)	4
	女性就業相談室の支援による就職者数：193 人 (200 人)	3
	障害者就職拡大推進員による就職者数：567 人 (400 人)	4
	ものづくり大学校等での在職者訓練(技能向上訓練等)実施人数：1,165 人 (1,200 人)	3
	仕事と生活の調和推進企業宣言登録企業数：1,669 件 (1,500 件)	4
中小企業育児・介護代替要員確保支援事業の助成件数：96 件 (100 件)	3	
戦略III「国際力」 強化戦略	ひょうご海外ビジネスセンター相談件数：427 件 (370 件)	4
	外国・外資系企業の進出件数：23 件 (25 件)	3
	海外からの観光客数：158 万人 (180 万人)	2
	県内外国人相談窓口数：73 箇所 (70 箇所)	4
	友好姉妹州省等からの文化・経済交流による来県件数：66件 (65件)	4

【参考：成果指標の評価基準】

評価点数	評価基準
4	達成率が100%以上 (目標を上回る)
3	達成率が90%以上100%未満 (おおむね目標どおり)
2	達成率が80%以上90%未満 (目標を下回る)
1	達成率が80%未満 (目標を大きく下回る)

【各プロジェクトの現状と課題】

戦略	プロジェクト	現状(抜粋)	主な課題
I「産業力」 強化戦略	1 成長分野 での飛躍	(1) SPring-8 共用ビームラインの産業利用は、全課題の約2割 (2) 航空、ロボット等の次世代産業において新たな雇用を創出するプロジェクトを展開 (3) 平成29年の工場立地件数は全国2位	① 中小企業の参入支援等による次世代産業の振興 ② 第4次産業革命に対応した新産業の育成 ③ 本社機能等の県内立地や既存企業の新事業展開に向けた立地支援
	2 企業・産業 の変革	(1) 地場産業の多くは、安価な輸入品の増加等もあり生産金額等が通減傾向 (2) 起業支援の拠点施設開設や補助を実施 (3) IT関連事業所の開設を支援しており、平成30年度から対象地域を拡大	① 地場産業のブランド化や海外展開のさらなる促進 ② 起業に向けたハードルの引き下げや第二創業の推進 ③ IT企業・人材の集積促進
	3 生活や地域 を活性化する産業	(1) 県内の商店街の数はこの20年間で約3割、商店数は約4割減少 (2) 本県への外国人旅行者は、平成29年度に過去最高を記録したものの、近隣の大阪、京都に比べ大きく立ち遅れ	① 店主の高齢化に対応した円滑な事業承継の促進や若手商業者の育成・支援 ② インバウンドのさらなる拡大に向けた、国・地域により異なるニーズへの対応
II「人材力」 強化戦略	4 働く場の 確保・創出	(1) 若者の県内就職と定着を促進するため、「ひょうごで働こう!プロジェクト」を展開 (2) 女性(30～39歳)の有業率は全国ワースト7位 (3) 高齢者(65～74歳)の有業率は全国ワースト2位	① 若者(特に転出顕著な20～30代女性)の県内就職やUJIターン促進に向けた質の高い雇用機会確保の強化 ② 女性や高齢者、障害者など多様な主体が就業しやすい、柔軟な働き方の推進
	5 職業能力 の向上	(1) 企業在職者に対して、資格取得やものづくり技能習得のための職業訓練を実施 (2) 事務的職業の有効求人倍率が1を大きく下回る一方で、専門的スキルを要する職業は求人が求職を大きく上回る	① 求人・求職ニーズを踏まえた職業訓練等の実施 ② リカレント教育の充実等在職者のスキルアップ支援 ③ 第4次産業革命による技術革新の AI・IoT に対応可能な人材の育成
	6 働きやすい 環境づくり	(1) 本県の30歳代、40歳代の子育て期の女性の非就業者は約22万人 (2) ひょうご仕事と生活センターにおいて、ワークライフ・バランス(WLB)の取組を全県的に推進。WLBを推進する県内企業は着実に増加	① 育児や介護など、個人のライフステージに沿った働き方の実現促進 ② 充実感を持てる仕事と家庭や地域等で個人の時間を持てる生活の両立
III「国際力」 強化戦略	7 世界で活躍 できる企業 の創出	(1) アジアを中心に県内企業の海外進出が進展 (2) 県内中小企業等へ就職した外国人留学生数は、年々増加	① アジア中間層を対象とした販路の拡大支援 ② インド、アフリカ等、今後著しい成長が見込まれる国々の市場開拓推進 ③ 外国人留学生の県内企業就職のさらなる促進
	8 世界から の企業・人 の誘致	(1) 県内に本社を置く外国・外資系企業数は、近年横ばいが続く (2) 県内の外国人労働者は増加しているが、高度人材の増加割合は全国の中で低水準	① 海外からの投資促進に係る支援制度等の幅広い発信 ② 高度外国人材を呼び込む仕掛けづくり ③ 外国人が安心して生活できる環境の整備
	9 世界との取引 環境の整備	(1) アジア主要都市に「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置し、県内企業の新興国等における海外事業展開を支援 (2) 友好姉妹州省等からの文化・経済交流による来県件数は、毎年65件程度で推移	① 海外事務所、サポートデスクによるネットワーク等を生かした、海外各地域との経済連携のさらなる推進 ② 友好姉妹州省等との相互訪問等を通じたつながりの強化による交流の深化

第2章 兵庫経済を取り巻く状況

I 兵庫産業・雇用にかかる時代潮流

1 人口構造の変容

(1) 人口減少と少子高齢化

- ・県人口は2009年11月の560万人をピークに2060年には366万人に減少する恐れ
- ・本県は2012年から転出超過が続き、2017年には6,657人の転出超過（全国ワースト2位）
- ・急激な少子高齢化が進み、2015年には県民の4人に1人が65歳以上

(2) 就業者の減少

- ・女性と高齢者の就業者が増加しているが、人口減少の影響により男性の就業者が大きく減少

(3) 市場の縮小・変化

- ・長期的な人口減少に伴い、全国の家計消費支出の伸びが低下する一方、消費マーケットが変化し、通信や保健・医療、家事サービス、娯楽・レジャー・文化への家計支出は大きな伸び

(4) 東京一極集中

- ・本県からの転出先は大部分が東京圏であり、その半数以上を占める20歳代の転出が拡大傾向
- ・都道府県別の社会増減と賃金水準には相関関係が見られ、東京都はいずれも群を抜いて高水準

(5) 日本型雇用システムの変化

- ・県内の非正規雇用は約92万人（全体の約4割）に増加 ・約3人に1人が疾病を抱えて就労
- ・休業者割合の上昇やテレワーク、副業、フリーランスなど、働き方が多様化

(6) 格差の拡大

- ・400万円未満の世帯が増加し半数に到達

(7) 人生100年時代

- ・本県の2015年の平均寿命は男性80.92歳、女性87.07歳に延伸
- ・前期高齢者（65～74歳）の就業率が高いほど、要介護認定率が低くなる傾向

2 産業構造の変容

(1) 地域経済を支える担い手の変化

- ・県、全国とも廃業率が上昇する一方、開業率が下降し、事業所数は減少傾向
- ・起業家数は東京都など大都市圏に集中し、本県は約50,000人で全国第8位
- ・事業承継の準備をしている経営者は、70歳代でも半数未満（全国）

(2) ものづくりの転換

- ・部品のモジュール化等の進展を背景に、高付加価値商品が価格競争に陥るコモディティ化が進行
- ・第4次産業革命により、バリューチェーンのスマイルカーブ化（中間プロセスの付加価値低下）が急速に進展

(3) 情報通信業の隆盛

- ・世界の時価総額上位の中心は、アップル、グーグルなどオンラインサービス提供企業へと変遷
- ・我が国のIT人材は東京に一極集中、不足が深刻化する懸念

(4) 第4次産業革命

- ・AI、IoT、ビッグデータなどの技術革新が、生産性向上や雇用代替等により産業構造に影響

(5) 新たな経済システム

- ・IT技術の高度化等により、キャッシュレス決済やEC（電子商取引）の活用が進展

3 世界構造の変容

(1) グローバル化

- ・中国やインドの経済成長、アジア中間層の拡大、インドやアフリカの人口増に伴うインフラ需要増加の見通し
- ・外国人労働者の増加、世界の海上輸送量や対内直接投資の増加、スマートフォンの普及など、ヒト、モノ、カネ、情報の流動が拡大

(2) 環境・エネルギー、食料需給制約

- ・温暖化が進行する中、世界のエネルギー需要は増加が続く見込み
- ・開発途上国を中心に世界人口が増加し、食料需要量は50年間で1.6倍となる見通し

II 兵庫産業・雇用の現状と課題

1 県産業・雇用の姿と変化

(1) 県経済の規模と地位

- ・主要経済指標は全国の4%程度のウェイト、全国順位では7位前後の地位

(2) 地域別状況

- ・都市部と多自然地域間の人口・産業偏在が拡大し、神戸・阪神・播磨地域に著しく集中

(3) 県産業の状況

- ・県内総生産の産業別構成比（2016年度）では、特に製造業（22.8%）の存在感が強いが、近年は産業のサービス化が進み、第3次産業が7割を超える水準まで上昇

(4) 県及び各地域の基幹産業

- ・就業者数の2割弱を占める製造業は30年間で約25%減少、一方で第3次産業は大幅に増加
- ・域外から需要を獲得する移出型産業（「稼ぐ」産業）は、鉄鋼や電気機械等の製造業が中心

(5) 雇用の状況

- ・有効求人倍率（2017年度）は1.32倍に上昇、正社員有効求人倍率は0.85倍
- ・人材不足の職業（2017年度）は、介護サービス（▲29,519人）、生産工程（▲22,664人）等

(6) インバウンドへの対応

- ・本県への外国人旅行者数は158万人（2017年）に達したものの、滞在は7時間弱

2 若年世代の就労状況と人口流出

(1) 20代の就労

- ・県内20代で女性の従事比率が高い職業は、専門的・技術的職業、事務、サービス職業、販売

(2) 若年世代の流出

- ・東京圏、大阪府への流出拡大が継続しており、転出超過が大きい産業（情報通信業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食・サービス業）は東京都、大阪府に比べて低賃金

3 生産性の向上

(1) 生産性の重要度の高まり

- ・人口減少による労働力不足は県GDPの減少に直結せず、2000年代からは技術進歩による経済成長（イノベーション）を表す指標である「全要素生産性（TFP）」の伸長が県GDPの成長に影響

(2) 県産業の生産性の現状

- ・業種別TFPは電気機械が上昇顕著な一方、一次金属（鉄鋼・非鉄金属）の下降幅が2000年代後半に拡大
- ・サービス業、卸売・小売業のTFPは低成長

(3) イノベーションの促進

- ・特許登録件数は全国6位でシェア3%、イノベーションに寄与する機関の従事者数は全国シェア約2～4%

(4) サービス業の状況

① サービス業の重要性

- ・製造業への中間投入におけるサービス業のウェイトが増加し、サービス化の傾向
- ・県内非製造業の利益率は、製造業に比べ景気による変動は少ないが、低位安定

② 生産性向上に向けた投資状況

- ・研究開発投資や従業員への能力開発投資は、サービス業が製造業に比べ低水準

4 時代潮流の変化に直面する兵庫企業（1,500社アンケートから見た課題）

(1) 企業が抱える課題

- ・売上の拡大（48.7%）や人手不足対策（37.0%）など業績や人材に関する課題が多数

(2) 技術革新への対応

- ・イノベーションへの取組実績あり27.4%、AI・IoT・ビッグデータ活用が6.0%と低調

(3) 担い手への対応

- ・半数以上（54.8%）の企業が人材不足と回答し、特に生産部門の不足（46.7%）が突出
- ・概ね3社に1社が、短時間勤務制度、就業時間の繰上げ・繰下げ、育児休業制度を導入

(4) 世界化への対応

- ・海外展開の実績・予定ありは14.4%（うち製造業が72.3%）、実績・予定なしは82.5%
- ・インバウンド対応には、外国人対応が可能な従業員やプロモーションの充実を重視

第3章 兵庫の産業・雇用活性化に向けた今後の基本方向

I 兵庫経済の目指す姿

<新たな時代を拓くすこやかな兵庫経済>

- ものづくりのみにとどまることなく、これまで培ってきた技術や人の基盤を生かしながら、最先端の成長産業、農林水産業も含めた地域産業、新たなニーズに対応するサービス業など、多彩な産業が役割を果たし発展する。
- 県民一人ひとりが、性別、年齢、障害の有無、国籍にかかわらず、生涯にわたって持てる力を高め、しごとに発揮する。
- ビジネスやツーリズムによる、国内外・県内の交流が活力につながる。

【「兵庫 2030 年の展望」(2018.10)との関係】

「兵庫 2030 年の展望」の実現に向け、経済・雇用分野における具体化を推進する。

兵庫県地域創生戦略
(目標年次 2020 年)

兵庫 2030 年の展望

21 世紀兵庫長期ビジョン
(目標年次 2040 年)

ひょうご経済・雇用活性化プラン
(2019~2023)

価値創造経済、全員活躍社会、
充実する自分時間、未来に挑
む人づくり、御食国ひょうご、
交流五国

II 重点戦略分野

【 県 の 取 組 】

産 業

<主な取組の視点>

- ◆世界をリードする技術基盤とサプライチェーンを生かして次世代成長産業を集積させる
- ◆地域社会に根ざした産業を持続させ、高付加価値化を促す
- ◆技術革新・地域資源を活用し、新たなニーズを捉える新産業・新事業を創出する

【活用すべき兵庫の強み】

- ① 企業集積・サプライチェーン
 - ・臨海地域の基幹産業、次世代産業分野の県内企業群
 - ・神戸医療産業都市で先端企業がクラスター形成
- ② オンリーワン中小企業
 - ・世界で高いシェアや評価を得ている企業
- ③ 科学技術・学術基盤
 - ・世界に誇る科学基盤、70 超の大学・研究機関等
- ④ 地域産業
 - ・商店街の活性化とまちの再整備に取り組むモデル
 - ・全国 1 位の業種を含む約 40 の地場産業
 - ・県内農産品のブランド化、輸出国拡大の動き

① 価値創造経済を実現する分野

技術革新、グローバル化、競争激化に対応し、高い付加価値を創出

航空・宇宙

ロボット

環境・エネルギー

健康医療

新素材

AI・IoT、ビッグデータ

IT 産業

商業・商店街

地場産業

② 御食国ひょうごを実現する分野

ニーズ多様化、世界市場拡大に県の豊かな農林水産物を発信・提供

食・農林水産業

③ 全員活躍社会・充実する「自分時間」・未来に挑む人づくりを実現する分野

だれもが能力を存分に発揮できるとともに、何度でも学び、知識や能力を高められる環境を整備

年齢・性別・障害の有無等に関わりなく働き続けられる環境づくり

何度でもチャレンジできる環境づくり

ワーク・ライフ・バランスの推進

学び直しの環境整備

人 財

<主な取組の視点>

- ◆未来の担い手、技術革新を担う人財を呼び込み、兵庫の飛躍に向けた働き手を確保する
- ◆一人ひとりが、自らの状況に応じて働きやすい環境をつくる
- ◆切れ目ない学び直しによる、生涯現役の産業人財を育成する

- ① 先端分野の雇用創造
 - ・3年間のプロジェクトによる約 900 人の雇用
- ② 女性・高齢者の就業状況
 - ・女性（育児中を含む）、高齢者の有業率上昇
- ③ ワーク・ライフ・バランス
 - ・全国に先駆け政労使協働で全県的な取組推進拠点設置
 - ・仕事と生活の調和推進企業宣言登録企業数 約 1,700
- ④ 人財の育成
 - ・県立大学等でのグローバル・情報化社会を担う人財育成
 - ・ものづくり大学校での訓練、体験学習に多数参加

④ 交流五国を実現する分野

定住人口の減少が避けられない中、世界との経済や人的交流を推進するとともに、五国の多彩な地域資源を生かしたツーリズムの促進により、交流人口を拡大

観光

文化

スポーツ

交 流

<主な取組の視点>

- ◆多文化共生の先進地として、海外の成長活力を捉える国際交流を推進する
- ◆自然、文化、スポーツなど多様で豊かな地域資源を生かした誘客を拡大する
- ◆だれもが安心・快適に滞在できるツーリズム推進体制を作る

- ① 国際交流基盤
 - ・学校、医療機関等外国人の暮らしやすい生活環境
- ② 変化に富んだ自然
 - ・瀬戸内海から日本海までのダイナミックな自然
- ③ 特色ある文化
 - ・多彩な伝統芸能、現代文化、歴史文化遺産
- ④ スポーツ拠点・イベント
 - ・スポーツ拠点施設や各種スポーツ施設の立地
 - ・大規模スポーツイベントの連続開催

第4章 兵庫の産業・雇用強化策の展開

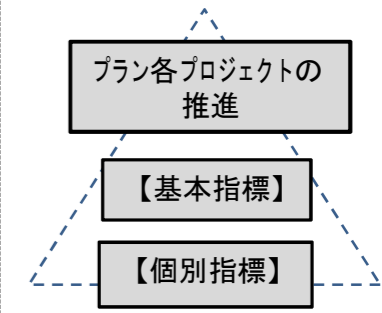
強化策	プロジェクト	施策の方向性
I 稼ぐ力を持つ産業	プロジェクト1 世界をリードする技術基盤とサプライチェーンを生かした次世代成長産業の集積	1 世界水準の技術を誇る県内企業による先端分野参入支援 2 科学技術基盤の産業利用の促進・裾野拡大 3 成長が見込まれる先端分野の開拓・深耕に向けた産学官連携の推進 4 県内投資を促進する立地競争力の強化
	プロジェクト2 地域社会に根ざした地場産業、商店街、サービス業、農林水産業等の地域産業の持続・高付加価値化	1 地場産業の新たな展開支援 2 地域の商業と商店街の活性化 3 域内消費型サービス業の高付加価値化 4 地域を支える農林水産業の基幹産業化
	プロジェクト3 技術革新・地域資源を活用し、新たなニーズを捉える新産業・新事業の創出	1 若者をはじめとした多様な主体による起業・創業の促進 2 中小企業の経営力強化と技術革新・地域資源を活用した新事業展開 3 中小企業の変革を支える金融の円滑化 4 大手企業、中小・ベンチャー企業、公設試験研究機関等の連携によるオープンイノベーションの推進 5 ものづくり、知識集約型サービス業(情報通信・対事業所サービス等)の強化・育成
II 環境変化に対応し、挑戦する人財	プロジェクト4 未来の担い手、技術革新を担う人財の呼び込みによる、兵庫の飛躍に向けた働き手の確保	1 若者の県内就職及び定着の推進 2 技術革新対応人財の県内就職の推進 3 兵庫を担う多様な人財の活躍推進
	プロジェクト5 一人ひとりが、自らの状況に応じて働きやすい環境づくり	1 多様な働き方の推進 2 ワーク・ライフ・バランスの推進
	プロジェクト6 人生100年時代と技術変化の加速に応じた切れ目ない学び直しによる、生涯現役の産業人財育成	1 産業構造変化に伴う新たな専門性を身につける職業能力開発 2 ものづくり人財の育成
III 地域の魅力で沸き起こる交流	プロジェクト7 多文化共生の先進地としての強みを生かし、海外の成長活力を捉える国際交流の推進	1 国際的な事業展開の推進 2 海外からの企業立地の促進 3 国際交流基盤の充実・活用
	プロジェクト8 自然・文化・スポーツなど五国を織りなす多様で豊かな地域資源を生かした誘客の拡大	1 海外からの誘客促進 2 県内外からの誘客促進 3 五国の地域資源の磨き上げ・ツーリズムづくり推進
	プロジェクト9 だれもが安心・快適に兵庫を体験・滞在し楽しめるツーリズム推進の体制づくり	1 ハード・ソフト両面のユニバーサル化の推進 2 観光関連事業者・団体・観光人財の組織・人強化

プランの進捗評価指標

「兵庫 2030 年の展望」の実現につながる総合戦略である「兵庫県地域創生戦略」の経済雇用分野にかかる戦略目標と重点指標・プランの各プロジェクト

【プラン進捗評価指標の関係図】

地域創生戦略	戦略目標 関連重点指標	人口流入増加（流出目標）			GDP：国を上回る成長率、GNI：海外等からの所得の比率を高める				
		若者(20歳代)の人口流入(流出抑制)数	女性(20・30歳代)の人口流入(流出抑制)数	県内大学卒業生の県内企業への就職率	製造品付加価値額	県内サービス産業の売上高	県内企業の海外現地法人の売上高	県内への訪日外客数	県内観光入込客数
プラン	関連プロジェクト	プロジェクト2、4	プロジェクト4、5	プロジェクト2、4	プロジェクト1、3、6	プロジェクト3	プロジェクト7	プロジェクト8、9	プロジェクト8、9



※本プランでは3つの強化策に基づくプロジェクト1～9の各進捗を総括的に示す「基本指標」、関連施策等にかかる「個別指標」を設定し、評価・検討。
(☆：基本指標、無印：個別指標)

【強化策Ⅰ 稼ぐ力を持つ産業】

プロジェクト・施策項目	進捗評価指標（主なもの）	単位	実績(2017)	目標[累計](2019～23)
プロジェクト1 次世代成長産業の集積 1 先端分野参入支援 2 科学技術基盤産業利用促進 3 産学官連携の推進 4 立地競争力の強化	☆ 航空・宇宙関連産業の県内企業生産額	億円	(16年)1,729	13,750
	☆ 新素材関連産業の出荷額	億円	-	207.3
	☆ 企業立地件数	件	167	825
	次世代産業高度化プロジェクト参加・支援企業数（累計）	社	-	(~20)3,472
	同プロジェクト AI・IoT 分野参加・支援企業数（累計）	社	-	(~20) 714
	航空産業非破壊検査トレーニングセンター検査員養成人数	人	10	125
	SPRING-8 県チームライン稼働率	%	99.6	100
	FOCUSスパコンを利用した研究開発企業数	社	171	(~21) 510
	兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム）による産学官共同研究参加企業数	社	16	110
	企業立地によるしごと創出数（累計）	人	5,390	13,176
プロジェクト2 地域産業の持続・高付加価値化 1 地場産業新展開支援 2 商業・商店街活性化 3 域内消費型サービス業の高付加価値化 4 農林水産業基幹産業化	☆ 全国シェア1位の産地数	産地	(15年) 7	(23年) 7
	☆ 新たな担い手による空き店舗への出店数	件	62	350
	☆ 県内サービス産業の売上高	億円	(15年) 110,595	646,164
	☆ 農業法人経営体数（累計）	法人	539	820
	じばさん兵庫ブランド創出支援事業等の支援件数	件	20	100
	商店街支援事業支援件数（累計）	件	355	675
プロジェクト3 新産業・新事業の創出 1 起業・創業の促進 2 中小企業の経営力強化・新事業展開 3 金融の円滑化 4 オープンイノベーションの推進 5 ものづくり、知識集約型サービス業の強化・育成	☆ 起業・創業の拡大によるしごと創出数（累計）	人	732	2,500
	☆ 県内中小企業の1企業当たり売上高の増加率	%	9.0	1.0
	☆ 情報通信関連産業の売上高	億円	(16年)2,067	11,991
	☆ 県内サービス産業の売上高【再掲】	億円	(15年) 110,595	646,164
	起業支援件数	件	169	1,125
	コワーキング施設開設支援件数	件	-	15
	中小企業経営革新計画承認件数	件	150	600
	事業承継円滑化支援件数（累計）	件	-	(~22)10,000
	中小企業等融資制度における融資枠	億円	3,600	17,500
	県立工業技術センターの共同・受託研究等の実施件数	件	858	4,000
	ものづくり支援センターによる共同研究プロジェクトのコーディネート件数	件	39	150
	ひょうごNo.1 ものづくり大賞選定件数	件	7	35
	高度IT起業家等支援件数（累計）	件	-	90

【強化策Ⅱ 環境変化に対応し、挑戦する人材】

プロジェクト・施策項目	進捗評価指標（主なもの）	単位	実績(2017)	目標[累計](2019～23)
プロジェクト4 働き手の確保 1 若者の県内就職及び定着の推進 2 技術革新人材の県内就職推進 3 多様な人材の活躍推進	☆ 若者（25～39歳）の有業率	%	81.9	(22年) 84.2
	☆ 県の支援によるUJIターン就職者数	人	533	3,350
	☆ 次世代産業におけるしごと創出数（累計）	人	935	(~20)1,634
	☆ 女性（30～39歳）の有業率	%	70.2	(22年) 73.4
	☆ 高齢者（65～74歳）の有業率	%	32.7	(22年) 38.3
	☆ 障害者雇用率	%	2.03	2.30
	☆ 県内中小企業等へ就職した外国人留学生数	人	(16年)461	2,200
プロジェクト5 働きやすい環境づくり 1 多様な働き方の推進 2 ワーク・ライフ・バランスの推進	中小企業就業者確保支援事業における奨学金返済支援者数	人	162	(~21)1,350
	地元企業等とのマッチング就職面接会の参加者数	人	2,616	12,500
	☆ 出産・育児・介護・看護により離職した者(過去5年累計)	人	61,700	減少させる
	☆ 仕事と生活の調和推進認定企業数	社	34	250
プロジェクト6 生涯現役の産業人材育成 1 新たな専門性を身につける職業能力開発等	中小企業育児・介護代替要員確保支援助成件数	件	96	1,000
	中小企業育児・介護等離職者雇用助成件数	件	11	525
	共済制度（ファミリーパック）の非正規従業員加入支援者数	人	700	(~20)2,000
☆ 産業の高度化に対応した職業訓練における就職率	%	75.8	75	
ものづくり大学等での在職者訓練実施人数	人	1,165	6,000	

【強化策Ⅲ 地域の魅力で沸き起こる交流】

プロジェクト・施策項目	進捗評価指標（主なもの）	単位	実績(2017)	目標(2023)
プロジェクト7 国際交流の推進 1 国際的事業展開推進 2 海外からの企業立地促進 3 国際交流基盤の充実・活用	☆ 県内に本社を置く企業の海外進出数	社	647	745
	☆ 外国・外資系企業の進出件数	件	23	125
	☆ 専門的・技術的分野（10分野）の在留外国人者数	人	6,328	6,420
	☆ 住んでいる市町は外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合	%	29.3	30
	☆ 中小企業海外展開支援助成件数（累計）	件	86	295
プロジェクト8 地域資源を生かした誘客の拡大 1 海外からの誘客促進 2 県内外からの誘客促進 3 ツーリズムづくりの推進	友好姉妹州等からの文化・経済交流による来県件数	件	66	325
	☆ 海外からの観光客数	万人	158	(20年) 300
	☆ 観光入込客数	百万人	139	(19年) 150
	☆ 県内宿泊者数	万人	1,380	(19年) 1,500
	☆ 県内観光消費額	億円	12,149	(19年)15,000
プロジェクト9 ツーリズム推進の体制づくり 1 エンバナー化の推進等	国内向け新たな体験ツーリズムへの支援件数	件	3	15
	インバウンド向け体験型プログラム創出への支援件数	件	-	35
外国人観光客受入体制整備事業の補助件数	件	21	25	
観光産業の人材確保・育成事業に関する参加者数	人	54	250	

※単位が%である指標の目標は、累計ではなく2023年時点の値